

AVR マイコンのタイマ 1 を使った赤外線リモコンデコードプログラムフロー図（例）

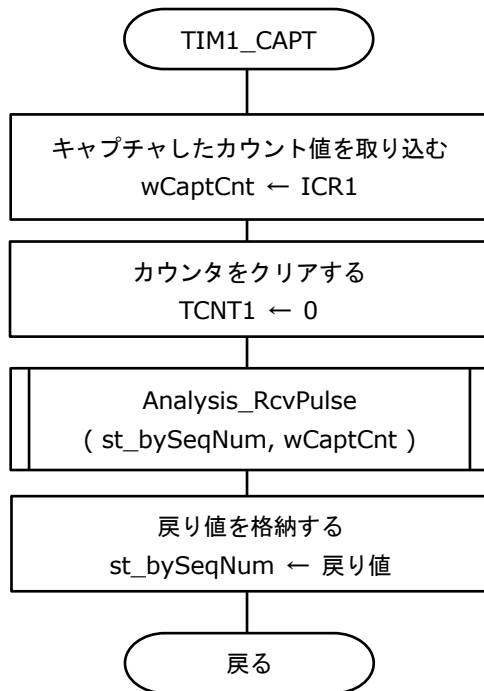
（ NEC フォーマット用 ）



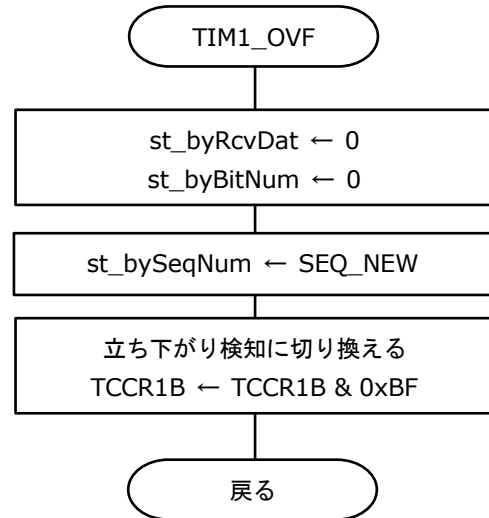
【備考】

この設定で、オーバーフロー割り込みは 524mS で発生する。

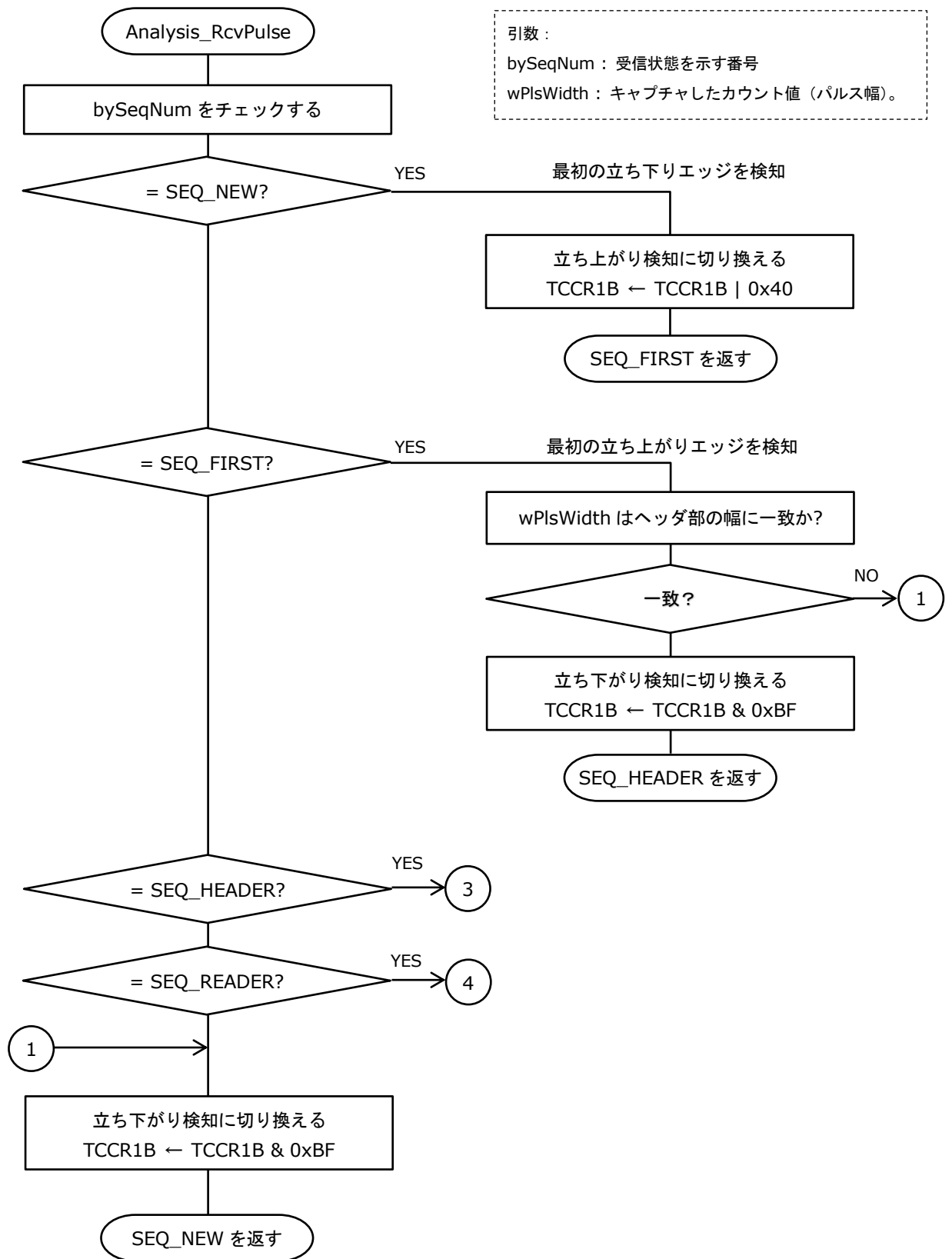
タイマ 1 (ICP1)インプットキャプチャ割り



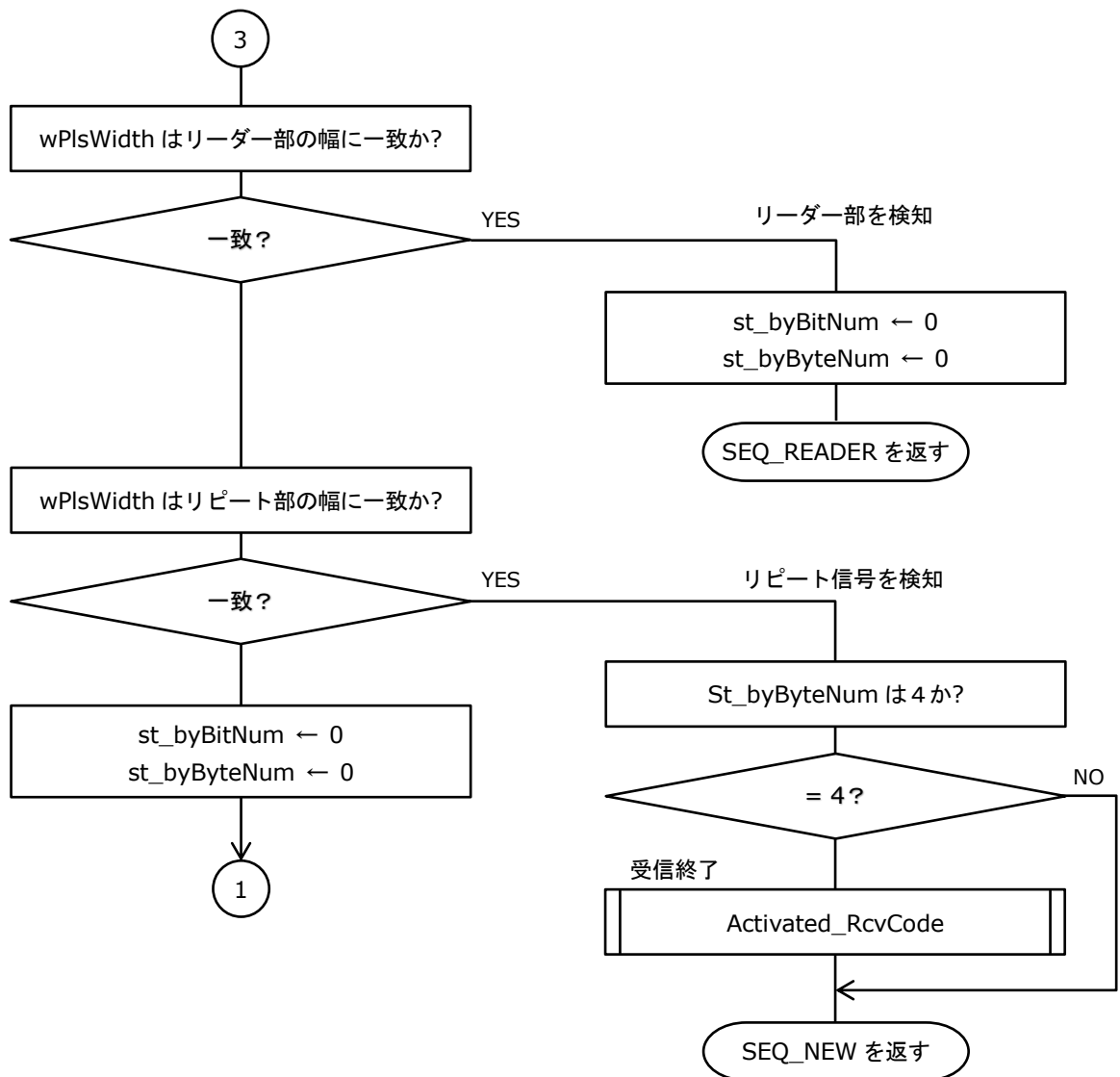
タイマ 1 オーバーフロー割り込み



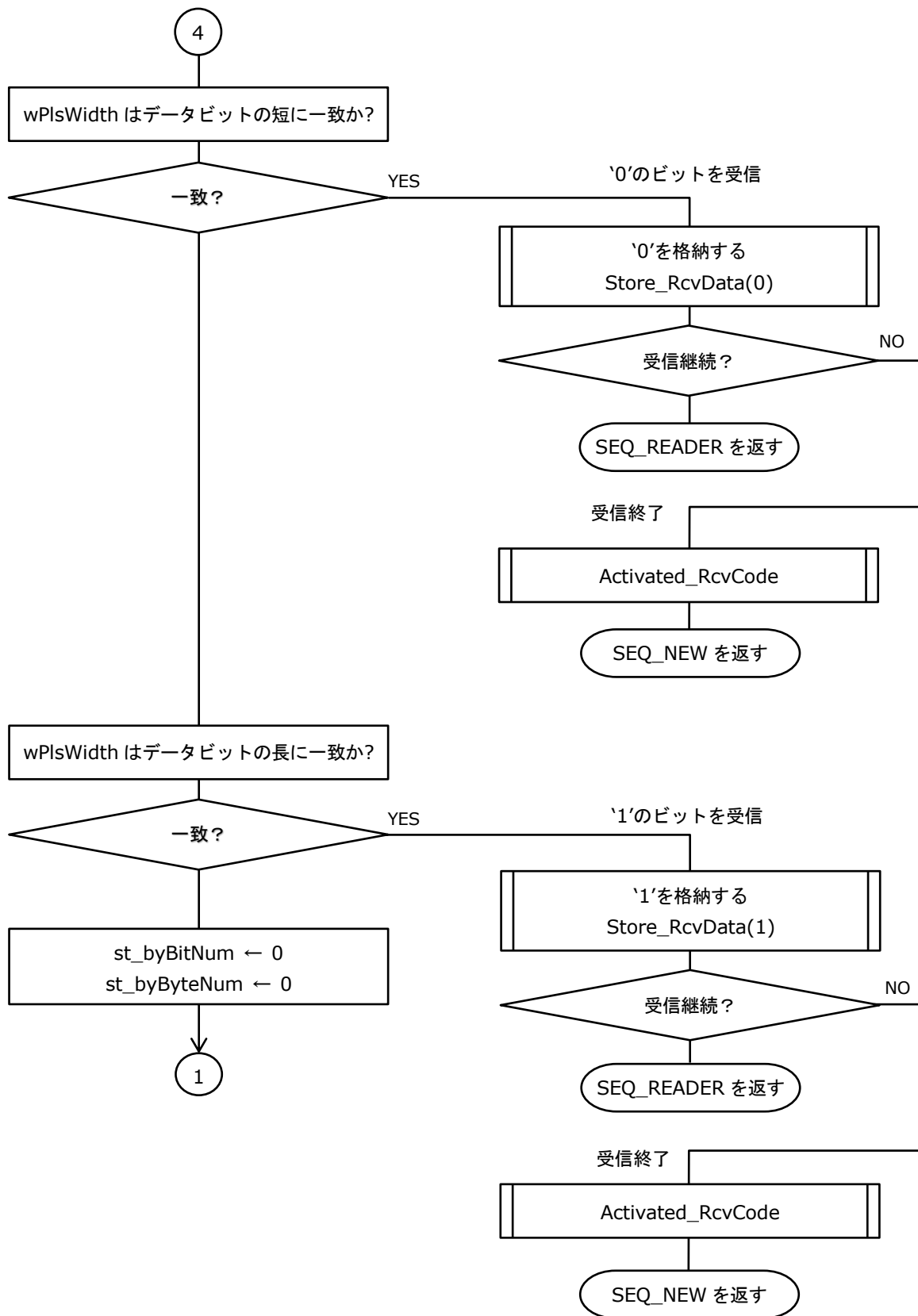
受信パルス ICP1 のエッジを検知したときの処理



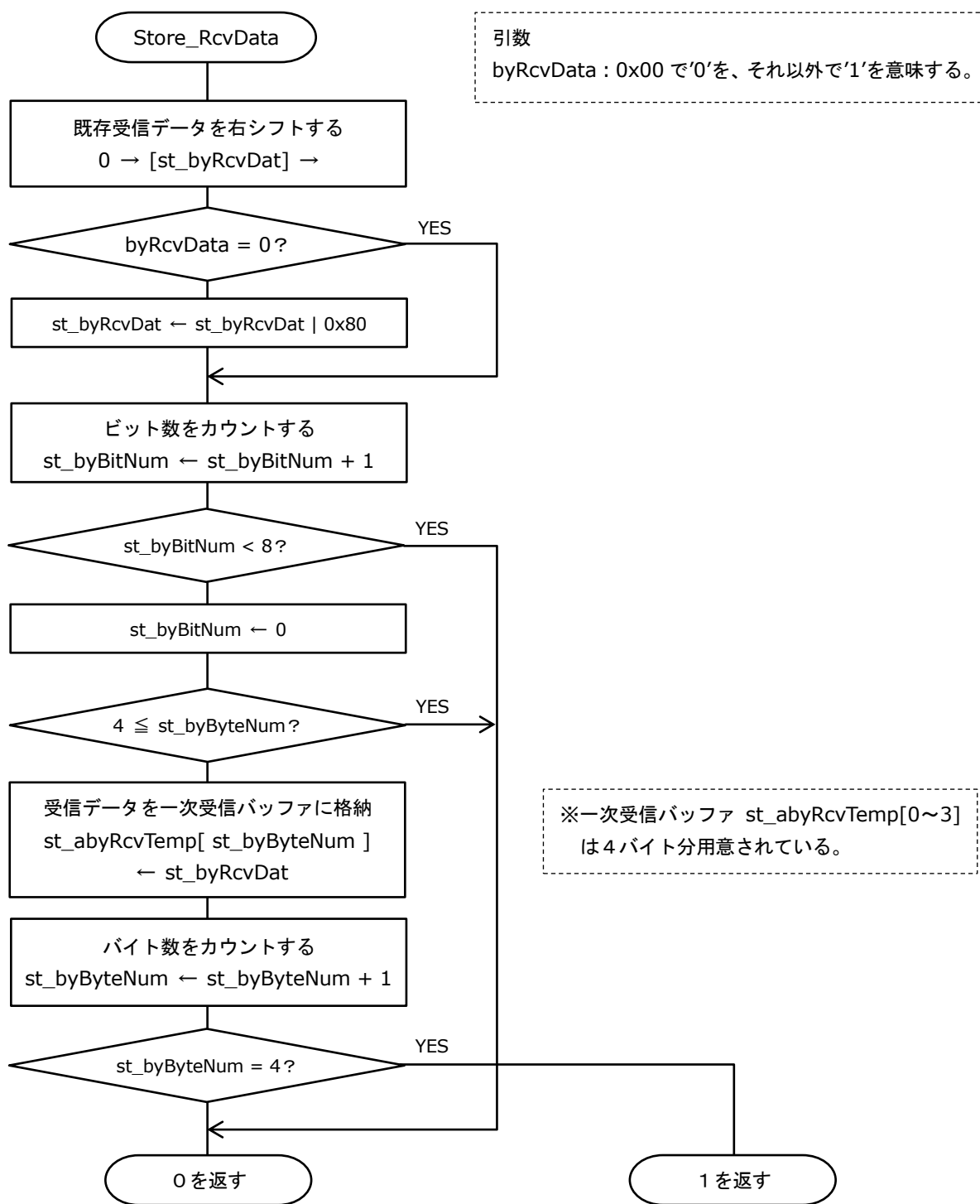
既にヘッダ部を検知している場合



既にリーダーコード部を検知している場合



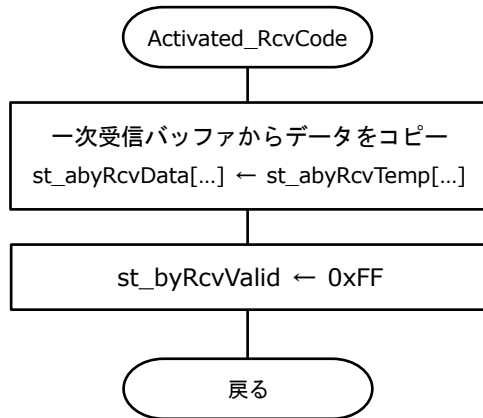
受信データを1ビットずつ
パラレル8ビットに変換して格納する



まだ受信データが揃っていないことを示す

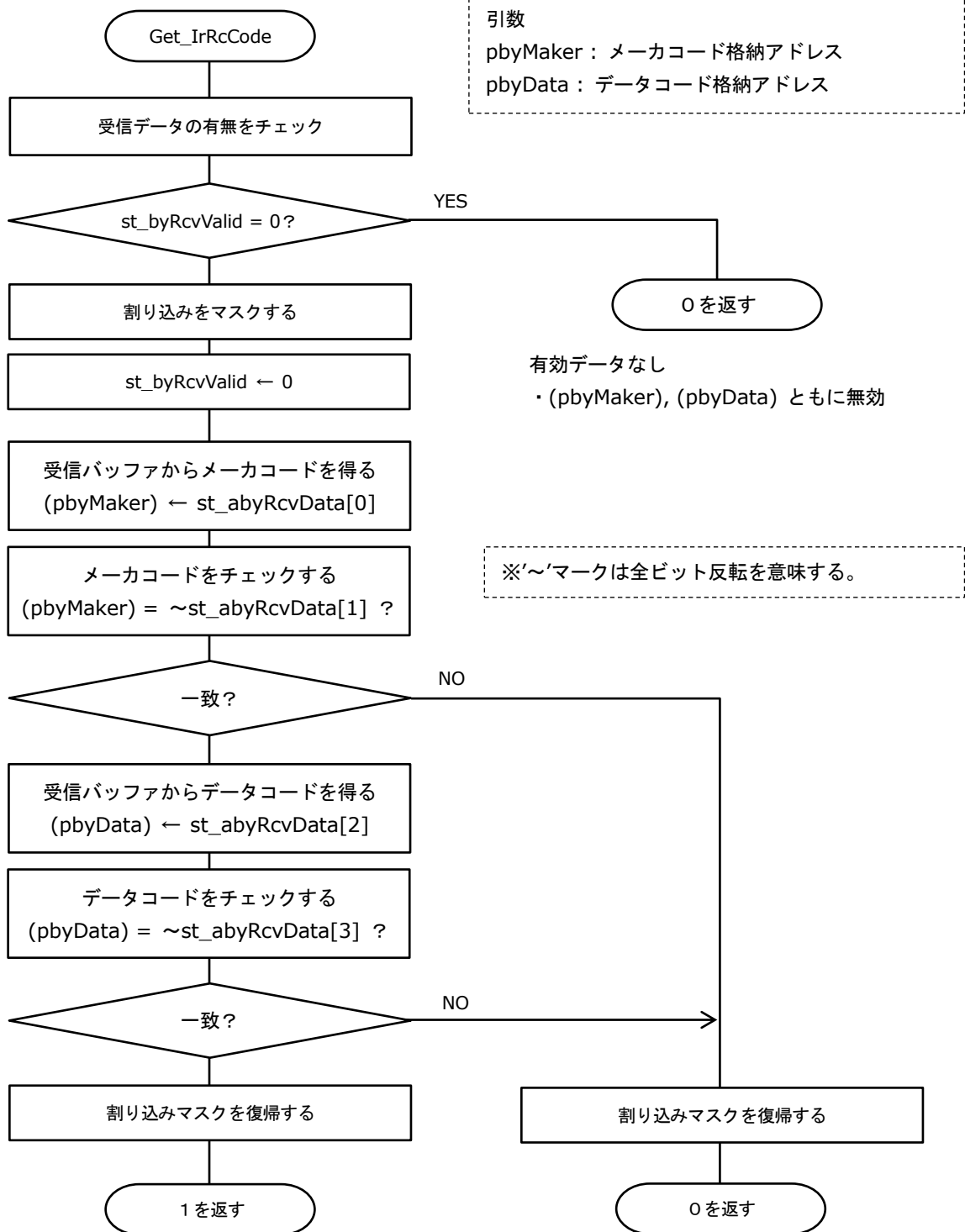
受信データが4バイト揃ったことを示す

一次受信バッファから受信データを取り出す



※受信バッファ st_abyRcvData[0~3]は
4バイト分用意されている。
ここでは4バイトすべてをコピーする。

赤外線リモコンの受信データを取得



有効データあり

- ・ (pbyMaker) にメーカーコード格納済み
- ・ (pbyData) にデータコード格納済み

有効データなし、またはエラーあり

- ・ (pbyMaker), (pbyData) とともに無効